

第3章 環境への負荷が少ない循環型社会の実現

第1節 3Rの推進

1 3R活動の普及啓発

(1) 環境にやさしい買い物キャンペーンの実施

「買い物」を通して地球環境や廃棄物などの環境問題を考え、環境に配慮したライフスタイルの実践を促進するために、マイバッグの持参や環境に配慮した商品の販売・購入、簡易包装の促進等を内容とする「環境にやさしい買い物キャンペーン」を3R推進月間（10月）に実施し、資源の節約とゴミの減量化や家庭の省エネ意識の高揚を図った。

【参加事業者数】

- ・百貨店、スーパーマーケット、ホームセンター等 34事業者（868店舗）
- ・商店街振興組合 3組合（131店舗）

(2) 3R活動普及啓発推進事業の実施

資源循環優良モデル認定事業において認定したリサイクル製品や廃棄物の3Rに積極的に取り組む事業所・店舗等を、環境イベント等において広く県民に周知し、認知度の向上を図るとともに、県民が身近に取り組める3R活動について紹介・展示等を行うことにより、県民の3R活動の普及促進と、3Rを意識したライフスタイルの定着を図った。

① 「愛媛の3Rフェア」の開催

3R推進月間（10月）に合わせ、大型ショッピングセンターにおいて、優良リサイクル製品や事業所の取組みのほか、県民が身近に取り組める3R活動等について紹介等を実施した。

○開催日：令和2年10月3日～4日

○開催場所：エミフルMASAKI



【「愛媛の3Rフェア」開催状況】

○出展企業：9社

- ・(株)Eーシステム
- ・えひめの木になる紙推進グループ
- ・遠赤青汁
- ・(株)カスタムテック
- ・金城産業(株)
- ・(有)内藤鋼業
- ・長崎工業(株)
- ・(有)トヨシマ瓦店
- ・(株)フジ

② 「3R体験ツアー」の実施

県民の環境意識の高揚と優良モデルの認知度向上を図るため、リサイクル製品の製造工程や事業所の3Rの取組みを取材した動画を作成し、WEB上の特設ページに動画を公開し、工場見学を疑似的に体験できる「3R体験WEBツアー」を実施

した。

○配信期間：令和2年9月16日（水）から

○配信場所：愛媛県資源循環優良事業者連絡協議会（R e -えひめ）公式HP

○事業者：6事業者

- ・えひめ洋紙(株)
- ・金城産業(株)
- ・(株)ダイキアクシス
- ・地産市場エフ・マルシェ古川
- ・(株)カネシロ
- ・(株)フジデリカ・クオリティ

2 リデュース・リユース・リサイクルの推進

(1) 使用済自動車の再資源化の推進

使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）に基づき、使用済自動車の引取り又はフロン類の回収について、各保健所において関連事業者の登録・許可及び指導を行った。

表2-3-1 自動車リサイクル法関連事業者の登録・許可状況

（令和3年3月31日現在）

区分 保健所	登録業者数		許可業者数		
	引取業	フロン類 回収業	解体業	破砕業	
				破砕前処理	破砕処理
西条	104	35	12	11	0
今治	54	21	11	2	0
中予	31	5	4	2	0
八幡浜	119	19	2	1	0
宇和島	56	10	2	0	0
複数保健所管	13	5	0	0	0
県計	377	95	31	16	0

※松山市所管分は含まない

(2) 製紙汚泥の発生抑制等の促進支援

国のエコタウン事業として平成18年1月に承認を受けた「愛媛エコタウンプラン」の一層の具体化を図るため、中核事業に位置付けた「製紙スラッジのゼロエミッション」についての事業化や施設整備に向けた取組みを促進するため、「紙産業資源循環促進支援事業」を実施した。

① 工業会会員企業の取組みに対する支援事業（間接補助）

公益社団法人愛媛県紙パルプ工業会が会員企業を対象に行う、製紙スラッジ焼却灰の発生抑制や有効利用等を促進するための研究・開発等事業及び技術・設備導入事業に要する経費の一部を助成する事業について、県は、工業会に補助を行った。

○補助率等：10/10（補助限度額：26,047千円）

【工業会の助成事業の概要】

- ・補助率等：研究・開発等事業 大企業 1/2 以内^{*}、中小企業 3/4 以内
※ただし、大企業が行う「特に 3 R の推進に資する」と事業審査
会が認定する事業は 3/4 以内
技術・設備導入事業 1/3 以内
- ・補助事業者：2 社（3 件）

② 工業会が取り組む調査研究事業に対する支援事業（直接補助）

工業会自らが取り組む、製紙スラッジ焼却灰等産業廃棄物の発生抑制や有効利用等を促進するための研究・開発事業について、県は、工業会に対し補助を行った。

○補助率等：3/4（補助限度額：5,000 千円）

【工業会の調査研究事業の概要】

製紙スラッジ焼却灰の有効利用等を図るため、「製紙スラッジ焼却灰を活用した塗工材料の開発」について調査研究を実施

(3) 廃棄物の再資源化に関する研究開発等の支援

県内産業廃棄物処理業者の循環型社会の構築に向けた取組みを促進するため、「資源循環技術等研究開発事業」の調査結果等に基づき、一般社団法人えひめ産業資源循環協会が中心となって取り組む地域の廃棄物等の 3 R（発生抑制・再利用・再生利用）を促進するため、「産業廃棄物処理業資源循環促進支援事業」を実施した。

① 産資協会会員の取組みに対する支援事業（間接補助）

一般社団法人えひめ産業資源循環協会が会員を対象に行う地域の廃棄物等の 3 R の促進に関する研究・開発及び機器整備、廃棄物等の発生抑制や減量化などの 3 R を実現する技術・設備の導入に要する経費の一部を助成する事業について、県は、同協会に対し補助を行った。

補助率等：10/10

【協会の助成事業の概要】

- ・補助率等：研究・開発等事業 3/4 以内
技術・設備導入事業 1/3 以内
- ・補助事業者：3 件

② 協会が取り組む調査研究事業に対する支援事業（直接補助）

協会自らが取り組む、日々進展し、高度化する産業廃棄物のリサイクルシステムや、温暖化対策、エネルギー革命等に即応した新たな再資源化技術等の調査研究事業について、県は、同協会に対し補助を行った。

補助率等：3/4

【協会の調査研究事業の概要】

会員の事業化を支援するために必要となる最新の再資源化システム・技術や温暖化対策等について、調査研究を実施した。